







SDGs取組宣言書

株式会社 アールテック
代表取締役社長 後藤 重喜
2022年1月6日

当社は国連が提唱するSDGsに賛同し、SDGsの達成に向けて後述のような取組みを重点的に推進することをここに宣言いたします。

SDGs ゴール	SDGs ターゲット	ターゲットの内容
 11 住み続けられるまちづくりを	11.6	「大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす」 2030年までに、大気の質及び一般並びにその他廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
 12 つくる責任 つかう責任	12.4	「化学物質や廃棄物の適正管理により大気、水、土壌への放出を減らす」 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
 13 気候変動に具体的な対策を	13.1	「気候関連災害や自然災害に対する強靱性と適応能力を強化する」 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
 15 陸の豊かさも守ろう	15.4	「生物多様性を含む山地生態系を保全する」 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するために、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実にを行う。

当社の具体的な取り組み内容

当社は、産廃処理業者として「環境」「気候変動」「生物多様性」への配慮や対策を当然の義務として捉え、持続可能な社会の実現に向けて経営してまいります。

<行動一例>

- ・社内で使用する資材や材料、事務用品などについて、人権侵害や児童労働、地域コミュニティへの悪影響に関わっていないことを確認してフェアな調達をしております。
- ・当社の事業根幹である産廃処理に係る生産活動、事務業務における資源利用について、利用する資源の量の削減（リデュース）、再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）に継続的に取り組み、3Rを徹底してまいります。